

赤十字かごしま 2019 夏号

赤十字基本原則：人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

■発行所：日本赤十字社鹿児島県支部 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1番5号 TEL099(252)0600



写真：赤十字レッドライトアッププロジェクト2019（山形屋 1号館）

CONTENTS

- 1 5月赤十字運動月間の活動報告
- 2 子どもたちが赤十字の活動を体験！
- 3 防災教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を体験!!
- 4 6月末からの大雨に対する日本赤十字社鹿児島県支部の対応について
- 5・6 平成30年度日本赤十字社鹿児島県支部 活動資金使途報告
- 7・8 日本赤十字九州国際大学オープンキャンパスのご案内
- 9・10 お知らせ掲示板

5月「赤十字運動月間」の活動報告

5月は、日本赤十字社の前身である博愛社の誕生（5月1日）の月です。また、第1回ノーベル平和賞を受賞した赤十字の創始者アンリー・デュナンの誕生月（5月8日生誕）でもあることから、毎年5月を赤十字活動を普及するための「赤十字運動月間」として、県民の皆様へ災害救護をはじめとする赤十字活動へのご理解とご協力をお願いするための活動を行っています。

赤十字運動月間啓発活動を実施！

令和元年5月3日（金）鹿児島市天文館(山形屋周辺)で県内の赤十字施設職員および青年赤十字奉仕団の団員が街頭啓発活動を実施しました。



赤十字レッドライトアッププロジェクト2019

今年も5月の赤十字運動・人道への理解を深めていただくことを目的として、赤十字のシンボルカラーである赤い光で照らす「赤十字レッドライトアッププロジェクト2019」を実施しました。（表紙写真）

県内では、第1号の赤十字サポーターである株式会社山形屋様が昨年に引き続き当プロジェクトにご協力をいただくとともに、下記の期間中は山形屋様のご協力により、山形屋1号館出入りに「赤十字支援BOX」を設置していただきました。

期間：令和元年5月1日（水）～5月31日（金）

時間：18：30～22：00

場所：株式会社山形屋 1号館 電車通側 外壁



※赤十字支援BOXは企業・団体様からのご依頼により設置する募金箱です。貸し出しをご希望の担当者様は、日本赤十字社鹿児島支部組織振興課までお問い合わせください。

子どもたちが赤十字の活動を体験！

大型連休中の令和元年5月3日（金）～4日（土）の2日間、鹿児島市の天文館アーケードにおいて開催された、“こどもお仕事体験 天文館わくわくワーク”に「日本赤十字社災害救護体験ブース」を出展し、赤十字活動のPRを行いました。

主に小学生を対象として、防災クイズのほか炊き出し、無線(トランシーバー)を使った交信や救護服の試着など体験をしていただき、体験後、参加した記念に終業証などをお渡ししました。また、救急車や災害救援物資、パネルなどの展示も行いました。保護者や子どもたちから、「楽しく体験ができ、災害救護などに興味を持ってました。」や「貴重な体験ができました。」、「さらに詳しく知りたい。」などありがたいお言葉をいただきました。



防災クイズの様子



炊き出し体験



無線(トランシーバー)を使った交信の体験



救急車車内にて

防災教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を体験!!

6月18日(火)、赤十字奉仕団委員長会議を開催し、鹿児島県内各奉仕団より委員長56名の参加がありました。

会議では、鹿児島県支部の活動や会費の状況、各奉仕団活動について情報の共有をしました。また、新しい防災教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を園児の気持ちになって体験しました。

この教材は幼稚園・保育園児向けとなっており、楽しみながら防災を学べるように子ども目線で作成されています。子どもであっても「自分の命は自分で守る」をコンセプトに、自然災害の正しい知識を持つ、自ら考え、判断し、危険から身を守る行動を身につけることを目標にしています。

グループワークでは、「地震」・「避難」をテーマに指導のポイントを学ぶとともに、子ども目線での危険や行動について活発な意見交換が行われ、体験された方からは「わかりやすく、使いやすい教材」との声が聞かれました。

今後、各奉仕団と青少年赤十字が連携し、地域の幼稚園・保育所や子育てなど幅広く活用されることが期待されます。



「ふうすいがい」シートを使用したデモンストレーションの様子

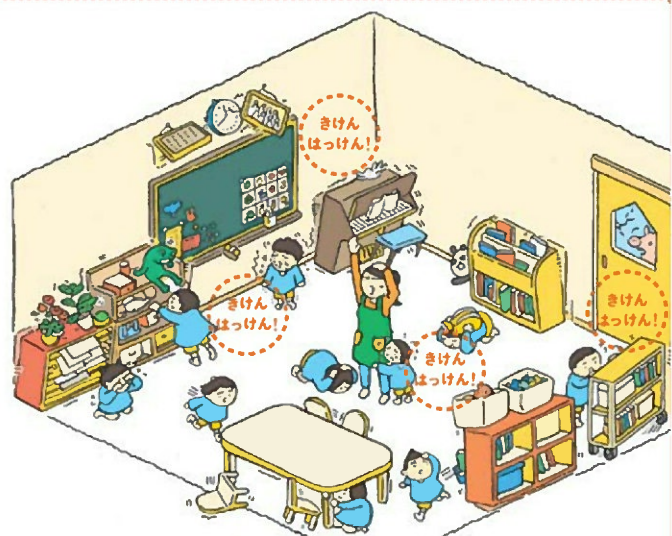


「じしん」シートでのグループワークの様子

幼稚園・保育所向け防災教材のご案内

ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!

「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」は、幼稚園・保育所の子どもたちに、災害時の危険(場所・行動)について伝え、自分の身を守るための基礎的な知識や判断力を身に付けてもらうことを目指した教材です。



特徴
1

楽しみながら
防災を学べる

特徴
2

災害時の行動による
結果まで分かる

特徴
3

テーマ別なので
学びたい部分だけ実施可能

6月末からの大雨に対する日本赤十字社鹿児島県支部の対応について

令和元年6月末から7月にかけての大雨については、県内多くの地域で避難指示が発令されるなか、土砂崩れや河川の氾濫などが相次ぎ、県の調査では7月9日13時現在で家屋の全壊や浸水など合計354棟の被害がありました。

このような状況の中、日本赤十字社鹿児島県支部では県内の医療救護活動や災害救援物資の配分などの対応を行うべく災害対策本部を設置し、情報収集を行うとともに、住家被害にあわれた方々に対し県内36箇所に常備設置しているタオルケットやブルーシートなどの災害救援物資を各地区・分区と協力連携しながら被災された方々へお届けしました。

これら災害救援物資は、かねてより県民の皆様方からいただいた赤十字会費を財源として調達し、有事の際には速やかに被災者の方々へお届けすることができるよう、備蓄しております。今後も日本赤十字社の活動へご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



写真1：災害対策本部の様子



写真2：鹿児島県支部救援物資備蓄倉庫



写真3：被災地域へ搬送



写真4：災害救援物資(緊急セット)の中身

皆さまから寄せられた活動資金は、このように使われました。


11,495 被災した人を救う
個(枚) ために

<災害救護活動>

平時から災害に備えるため、常備救護班8個班(48名)を編成し、県内外の訓練に参加しました。

また、支部倉庫に加え県内36の地区・分区に毛布やタオルケット、緊急セット、ブルーシートなどの災害救援物資を備蓄し、迅速な配分に備えました。

なお、9月の台風24号により、奄美地域を中心に暴風・大雨による被害が発生しました。本県支部では災害対策本部を設置し、被災地区・分区に2,129個(枚)の災害救援物資の輸送等を行いました。平成31年3月末現在、11,495個(枚)の災害救援物資を備蓄しています。



(写真：大型クルーズ船事故対応訓練の様子)

19,028人 人間のいのちと健康を守るために

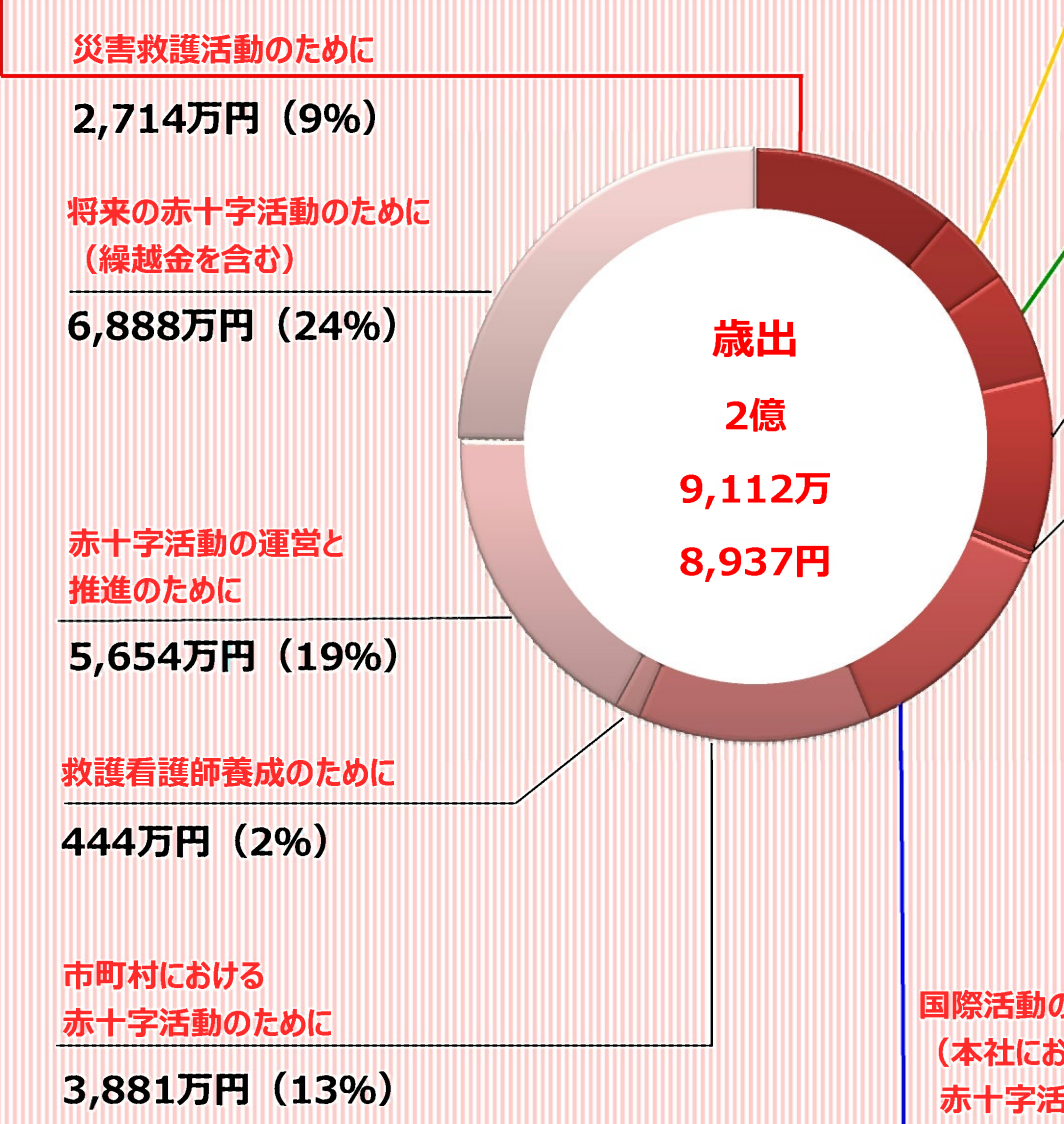
<救急法等の講習>

救急法等講習のために
1,287万円 (4%)

AED(自動体外式除細動器)の使い方や心肺蘇生法、高齢者生活支援、子どもの事故防止と手当などの講習を県内各地で行いました。昨年度は県内で19,028名の方が受講されました。



(写真：救急法普及イベントの様子)



赤十字奉仕団・青少年赤十字育成のために
1,820万円 (6%)


赤十字思想の普及のために
3,081万円 (11%)

医療・献血・社会福祉のために
162万円 (1%)

191 の国と地域

<国際活動>
世界で紛争や災害で苦しんでいる人を救うために

災害や紛争、病気などに苦しむ人々を救うため、世界191の国と地域に広がるネットワークを生かして、緊急時の救援や復興支援、予防活動に取り組んでいます。



(写真：パレスチナ赤新月社医療支援の様子)

国際活動のために(本社における赤十字活動を含む)
3,182万円 (11%)

65回 **<赤十字ボランティア>**
社会貢献をするために

災害時の被災者支援や地域での福祉活動など、県内に65ある赤十字奉仕団のボランティア活動の促進を図りました。



(写真：地域奉仕団による炊き出し研修の様子)

528校 **<青少年赤十字(JRC: Junior Red Cross)>**
「命の大切さ」を学び、「思いやりの心」を育むために

528校(園)の児童・生徒たちが実践活動を通じて、自ら「気づき、考え、実行する」態度目標を学ぶ機会を提供しました。



(写真：研修の様子)

ひとりを看る目
その目を世界へ!

2020 学生募集

充実したサポート制度

日本赤十字社推薦制度 特待生制度

各種奨学金制度 日本赤十字社各県支部・赤十字医療施設
日本赤十字社看護師同方会、他

日赤九州看護大 検索 入試等のご相談は
詳細はHPをご覧ください。 随時、受け付けています。
https://www.jrckicn.ac.jp/ TEL : 0940-35-7008

Point 確かな実践力が身につくカリキュラム

Point 国際人としてのスタートに向けた多様な舞台

Point 赤十字ネットワークを生かした実習・就職

Point 自己啓発の糧ボランティア活動



オープンキャンパスのご案内

緑にあふれるキャンパスで、学生気分を味わってみませんか?
オープンキャンパスの見どころをご紹介します!

1回目 7.14(sun) 2回目 9.14(sat) 10:00~14:00 (9:30受付開始)

イベントが盛りだくさん!

- ・キャンパスツアー
- ・救護服記念撮影コーナー
- ・学費・奨学金・入試説明会
- ・海外研修 活動報告
- ・入試対策セミナー(9/14のみ)

他にもさまざまなイベントを企画中です。
※予定は変更する場合もございます。



※詳しくはホームページをチェック!



EVENT 在学生との交流
学生による海外研修発表や学校生活について聞けます。



EVENT 体験コーナー(高齢者・妊婦母親体験など)
血圧・骨密度測定、高齢者体験、妊婦母親体験など、在学生と一緒にやってみよう。



EVENT 授業体験
災害救護や国際救援に広く携わる教授から少人数制で、意欲的に学べる!



EVENT 相談コーナー(学部・大学院)
入試、学費、奨学金など、気になることを、お気軽にご相談ください。

Access



当日は、JR「赤間駅」南口バスロータリーより無料の送迎シャトルバスを運行します。

送迎バス	[行き] 赤間駅発 9:00~11:30(随時)
運行時間	[帰り] 本学発 12:30~15:00(30分間隔)

その他のアクセス
西鉄バス/天神より「日赤看護大学」行き急行(約1時間)
JR/博多駅一赤間駅(約35分)
JR/小倉駅一赤間駅(約35分)
九州自動車道・若宮インターより車で約20分

●お車でお越しの方は、本学敷地内の無料駐車場をご利用ください。

校内見学いつでも開催中! 月~金(祝日除く) 9:00-17:00
平日、随時見学できます。ご希望の日時を、事前に入試広報課へお電話ください。



複数回献血クラブは「ラブラッド」に愛称を統一しました

Webサイトをリニューアルしました

ラブラッド会員大募集!!

全国どこでも
献血
予約可!

ポイントが
貯まる!

血液検査の
結果通知が
早い!

会員限定の
キャンペーンや
特典が届く!
etc

かんたん会員登録!

<http://www.jrc.or.jp/donation/club/>

ラブラッドで、ぜひ献血予約を!!



facebook

にて情報発信しています!!



鹿児島県赤十字病院や鹿児島県赤十字血液センターでは活動状況の紹介や皆様に興味を持っていただけるような、各種イベントの案内などの情報を発信しています。

ぜひ、『いいね』・『フォロー』をお願いいたします!



facebookアカウント

鹿児島県赤十字病院

@kagoshima.redcross

鹿児島県赤十字血液センター

@kagoshima.rc.bc



心肺蘇生やAEDの使い方を学ぼう!

ワールド・ファースト・エイド・デイ 2019

毎年9月の第2土曜日を中心に、世界各国の赤十字で実施されるイベント!

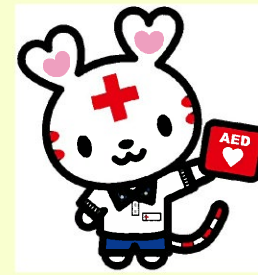
心肺蘇生やAEDの使い方を気軽に学べます。

ぜひご家族やお友達と一緒にお願いします。

開催日: 9月8日(日) 10:00~17:00

場所: オブシアミスミ(予定)

参加費: 無料



救護服を着用してハート
うちやんと一緒に写真撮
影もできます♪



赤十字
見学者
募集



赤十字見学者募集のお知らせ!!

地域や団体、職場等の研修の一環として皆様からいただいた赤十字会費がどのように使われているか見学してみませんか?

赤十字は、毎年、皆様からいただいた活動資金(赤十字会費)のみで運営しています。

詳細については、日赤鹿児島県支部のHPか左下記までご連絡をお願いいたします。

☎099(252)0600

URL: <http://www.kagoshima.jrc.or.jp> E-mail: shibu-rc@kagoshima.jrc.or.jp



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

鹿児島県支部

日赤鹿児島県支部

検索